

第442号  
令和2年

5月25日

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住東口専売店  
TEL5850-3699  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

「お米で緊急支援プロジェクト」  
第二弾開始します。  
一般社団法人あじいる

「必要な人にお米を届けます。」

一般社団法人あじいるは、今困っている多くの人にお米の支援ならでできるのではないかと考え

「お米で緊急支援プロジェクト」を立ち上げました。第一弾としてインターネットや口コミから申込のあった生活困窮の方たち四十名に米5キロを送りました。支援を受けたシングルマザーの方や外国人の方から英語でお礼が届いています。

現在コロナウイルスの影響により、非正規労働者、外国人労働者、シングルマザー等社会的弱者と言われる多くの方が食べる事にも事欠く生活困窮に陥っています。見えて来ない段差があります。そして、助けてと声をあげること



き詰っている方も多くいます。

「生きる力を与える米」

古来、私たちはお米を主食としてきました。米にはパワールの素になるでんぷんがたくさん含まれその他にもたんぱく質、脂質、カルシウムなどが含まれています。生きていくうえで必要なエネルギー源を主に米から取ってきました。朝ごはん習慣を持つことが、自分の生活の質をよりよく保つため、自分が幸せに暮らすために必須であるという報告もあります。一日の活力を朝ごはんから摂ることができ

「ほんの少しでも安心感が生まれたら嬉しい。」

米びつにお米が入っていると安心して米びつにお米がない状態の方が増えています。まだまだ、必要な人にまったく届いていない状況です。

そのため「お米で緊急支援プロジェクト」第二弾を（五月二十四日より三十一日迄）開始致します。

「知らせること、分け合うこと」

周りで困窮な状態の方がいましたら、このお米支援をお伝え頂けますか。世帯人数や収入状況、貯蓄に関係なく、お名前とご住所をお知らせ頂いたら、お米5キロをお送りします。

「母の日に届いたお米、子どもと共に喜

んでいます。」

支援を受けたシングルマザーの方のお礼のメールから子どもの笑顔も見えてきます。

「寄付が支援の継続になります」

このお米の支援は寄付で成り立っています。米代と送料で一件あたり三千円がかかります。

現金、お米一合以上（平成二十九年度以降のもの、外国のお米不可）、賞味期限が2ヶ月以上残っている食品（レトルト食品・缶詰・調味料・乾麺・非常用食品など）少量でも寄付を受付けております。

転んだ人に手を差し伸べることで、立ち上がり歩き出すことができます。温かな手を差し伸べてみませんか。

## 【問合わせ・申込先】

一般社団法人あじいる

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里1-36-10あうん気付

TEL：03-5850-4863（月～土 10時～18時）

FAX：03-5850-4864

こちらでも受付けております。

<https://sumidairyo.wordpress.com/>